

日本予防医学協会では、健康診断の結果を使用して下記の研究を実施しています

研究は、一般財団法人日本予防医学協会倫理委員会の承認（承認番号：倫 2025003）を得て実施しています。本研究に用いる健康診断結果は研究計画書に従い匿名化処理がおこなわれており、研究対象者の氏名や住所などの個人情報とは特定できないように安全管理措置を講じた上で取り扱っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら下記に記載されている研究責任者または問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。本研究の成果は学会や論文などで公表することがありますが、個人が特定できる情報は一切公開されません。

研究の研究対象者に該当すると思われる方で健診情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は研究責任者または問い合わせ担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承ください。

【研究課題】

上部消化管内視鏡検査における胃内残渣の頻度と関連因子の後方視的検討

【研究の目的】

健診において施行された上部内視鏡検査の結果を后方視的に解析し、胃内残渣の頻度、性状、および検査前要因（内服、最終内服時間、空腹時間など）との関連を明らかにする。

【研究の対象となる方】

2025年5月～8月にウェルビーイング毛利で上部消化管内視鏡検査を受けた方（胃術後を除外）

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日から 2027年3月31日まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

内視鏡所見（残渣の状況等）、内視鏡問診の結果、定期健康診断の結果

【利益相反に関する事項】

利益相反はありません。

【問い合わせ先】

研究実施責任者 日本予防医学協会附属診療所ウェルビーイング毛利 金子真大